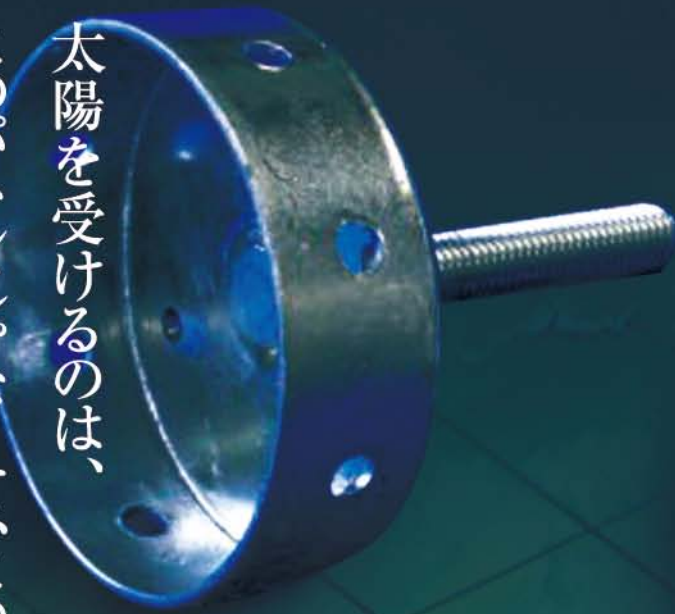


太陽を受けるのは、
このパネルじゃなくて、
このアンカー



あと施工アンカーの進化論

SPIKE BOND ANCHOR

スパイクボンドアンカー

実用新案登録 第3136058号

従来型より
施工時間を
大幅短縮

従来型より
スマートな
施工性能

構造物を
傷めない



New Application of Science & Engineering

有限会社ナセ工企

<http://www.nasekouki.co.jp>



TSUBOKO

株式会社坪子熔接所

<http://tsuboko-yt.co.jp>

《スパイクボンドアンカー》とは

1. 従来型あと施工アンカーでは設計した場所に対応できない。
2. 施工したが鉄筋・背筋に当たってしまう。
3. コンクリートの厚みが足りずに施工出来ない。
4. そんな場所に対応できる新しい発想のあと施工アンカーボルトです。

《スパイクボンドアンカー》の特徴

1. 引張強度を確保する為の穿孔が鉄筋のかぶり厚さより浅い位置に設置出来るので、鉄筋に接触せず施工位置が正確に保てます。
2. 強力な接着剤を使用するので引張強度が強い。
3. せん断方向に対してスパイクが働くので必要な強度を持ちます。

《スパイクボンドアンカー》の種類

1. M8～M16のボルト型・ナット型 溶融亜鉛メッキ製
2. M8～M16のボルト型・ナット型 電気亜鉛メッキ製
3. M8～M16のボルト型・ナット型 SUS製
4. その他特注品に対応しています。

《スパイクボンドアンカー》施工方法

1. 設置位置にコンクリート用コアドリルにて約 40mm 穿孔します。



2. 穿孔部をきれいに清掃します。(接着不良の原因になります)



3. 専用接着剤を水と規定量を練り混ぜます。



4. 規定量を穿孔した部分に流します。



5. 接着剤が乾燥しないうちにスパイクボンドアンカーを設置します。



6. スパイクボンドアンカーと接着剤を良く密着させます。

(スパイクボンドアンカー上面穴よりはみ出すまで)



7. 充分養生時間をとります。(施工時期・天候により異なります)

8. 養生が充分出来たら引抜試験をします。



9. 設計値（引抜強度）が確保出来たら完了です。

